

第100回 全国高校野球選手権大会

▶ 第10日

光星 勝利へ気合十分



トス打撃で汗を流す但井龍哉(中央) 14日、兵庫県伊丹市内

きょう龍谷大平安と2回戦

両校主将かく戦う

好機逃さない
八学光星・長南洋主将
相手は伝統があり、堅守からリズムをつくって印象なので、相手の雰囲気はまれないようにしたい。投手は簡単に崩せないと思うので、好機を逃さず、点を取れるだけ取りたい。

第100回全国高校野球選手権、青森県代表の八学光星は15日の第4試合(午後3時半)試合開始予定で、京都府代表の龍谷大平安と対戦する。過去には春のセンバツ大会でぶつかり、2戦2敗と分の悪い相手だが、ナインは「自分たちらしい野球で勝利したい」と気合十分だ。
2回戦最後の練習は14日、兵庫県伊丹市内で約2時間行われた。ナインはシートノックと打撃練習を実施。フリーバッティングでは、コーチ陣からサインの姿勢などで助言を得ながら、懸命にバットを振った。投手陣は、主戦の福山優

打ち勝ちたい
龍谷大平安・松田憲之助主将
光星は強打のイメージがあるが、自分たちも京都大会ではつながりのある打線を武器に大量得点してきたので、打ち勝ちたい。守備の位置取りや内野、外野での連携も意識したい。

希が30球ほどを投げ、中村優惟・成田本一はストレッチなどで体を休めた。
練習後のミーティングでは、仲井泰監督が「挑戦者の気持ちで、本気で(チームが)一つになって戦おう」と選手を鼓舞した。
長南洋主将は取材に「初戦同様、いい緊張感を保っている。集中力を高め、チームのために戦った

② 秋山龍正(3年)

茨城・戸頭中出



甲子園だより

初戦を突破し白は「次も試合ができる」という安心感とうれしさという一言で、その日だけは勝利の余韻に浸っていました。次の日からは、龍谷大平安戦に

強気のリードする

向けて気持ちを切り替えて練習に励んでいます。捕手として常に心掛けていけるのは、強気のリードをする。どんなに打ち込まれてしまっても、逃げずるに攻めの気持ちを持ち続けることが大事だと思っています。投手陣には、2回戦でも思いっきり投げてもらいたい。甲子園には両親や親戚が応援に来てくれます。一生懸命な姿を見せます。



バスに乗り込む生徒ら 14日、八学光星

「マチニワ」で無料PV実施 八戸市

八戸市は15日、第100全国高校野球選手権大会で、青森県代表の八学光星が龍谷大平安(京都)と対戦する2回戦の試合のパブリックビューイング(PV)を同市三日町の八戸まちな

か広場「マチニワ」で実施する。入場無料。時間は試合開始予定の午後3時半から。マチニワでは11日、1回戦の光星一明石商(西兵庫)でもPVを行っている。

昼前、バス6台で八戸市港高台6丁目の同校を出発し、甲子園球場へ向かった。同日午前11時20分からは、代表して吹奏楽部長の3年福士湧太さんが「記念すべき第100回の大会で光星が優勝できるように、一生懸命応援したい」と、力強くあいさつした。
応援団は15日午後1時から、同球場へ到着予定。(佐藤雄)